

やまだ

ふるさとだより

第20号

令和5年1月20日

発行 山田地区ふるさとづくり
推進協議会(山田公民館内)

住所 富山市山田湯 880

電話 457-2055・FAX 457-2207



【新年にあたって】

山田公民館にて

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は新年早々にロシアによるウクライナ侵攻が勃発、円安によるガソリン・食料品等の値上げが進み、家計には苦しい一年となりました。

悪いことばかりが目立ちましたが、嬉しいこともありました。メジャーリーグ大谷選手やプロ野球村上選手の大活躍、そしてサッカーワールドカップで日本が予選一位通過するなど、大きな喜びを与えてくれました。

昨年の文化祭も、コロナの関係で午前中の終了となりましたが、そのぶん内容の濃いものとなりました。関係されたスタッフの皆様には感謝申し上げます。

今年より中核型地区センターが同居することになる山田公民館は、皆様の憩いの場所です。

今後とも「和気あいあい・住んでよかった」と感じられるようなふるさとづくりに皆様方のご理解ご協力を得ながら、一層取り組んでまいりたいと考えております。

皆様にとって、今年も良い年でありますようお願い申し上げます。

山田地区ふるさとづくり推進協議会
会長 吉田 良雄

☆ 公民館ふるさと講座実施報告 ☆

「ミニ門松づくり」

12月22日、山田公民館にてミニ門松づくりが行われました。

今年は、公民館のふるさと講座と山田地域社会福祉協議会の合同講座となり、20名の方が参加されました。

講師は社会福祉協議会会長の松島さんをお願いし、作り方の説明を聞きながら、土台の竹内に3本の竹と砂を入れ、棒でつき基礎を固定、センリョウ等で飾り付けをして完成させていました。

出来上がった門松を見て、参加した皆さんからは「ワァ〜」、「来年良い年になるといいね」等の喜びの声があがっていました。

今回、竹や材料の準備をしていただいた皆様方に感謝申し上げます。



◇◇ 2・3月の主な行事 ◇◇

- | | | | |
|-------|-----------------------|----------|------------------|
| 2月 4日 | 牛岳スノーフェスタ | 牛岳温泉スキー場 | (牛岳スノーフェスタ実行委員会) |
| 2月25日 | ふるさと講座「身近な野菜で西洋料理に挑戦」 | | (山田公民館) |
| 2月26日 | スノーバレー in やまだ | 牛岳温泉スキー場 | (ソフトバレー協会事業) |
| 3月15日 | 山田中学校卒業式 | | |
| 3月17日 | 山田小学校卒業式 | | |
| 3月24日 | 山田保育所修了式 | | |



山田地域 文化祭



山田地域文化祭

11月3日、山田公民館で山田地域文化祭を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、約140名の方々にご来館いただきました。

ステージでは、オカリナ演奏、脳卒中説明会、マンドリン演奏、合唱、学習発表、マジックショーなど、多彩な演目が披露され、会場からは大きな拍手がおくられていました。

また、山田赤十字奉仕団のみなさまには、お持ち帰り用の手作りおにぎりをご用意いただきました。

今回の文化祭におきまして、みなさまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。



富山市民大学特別講演会

山田地域文化祭と同時開催された富山市民大学特別講演会では、北日本放送パーソナリティーの鍋田恭子さんに、「笑いとコミュニケーション」と題してご講演いただきました。

会場はほぼ満席となり、鍋田さんによる富山弁を交えながらのテンポのよいユーモアたっぷりの講話を楽しんでいました。

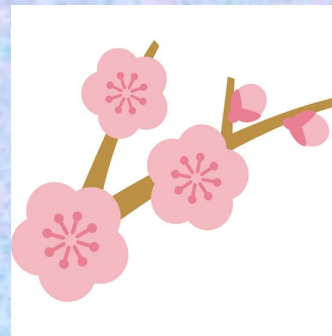




山田地域 はたちの集い

日時 令和5年1月8日(日)
会場 山田公民館(3階体育室)

『新はたちの抱負』



若林 直弥さん

前田美悠玖さん

この度は成人の日を祝って頂き誠にありがとうございます。

この山田で成人の日を迎えられることを大変嬉しく思います。現在、コロナウイルスの影響で動きが制限されている中、それぞれがやりたいこと、目指しているものに向かって道を歩んでいます。私も理学療法士になるための勉強を続けており、少しずつ知識と技術を身につけている最中です。今後も夢に向かって頑張って行きますので、背中を押して見守って頂ければと思います。

成人という大きな節目を迎えられることを大変嬉しく思います。

両親をはじめ、お世話になった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。成人式を人生の節目として、これからの自分自身の目標にむかって精進していくことともに、大人としての自覚をもち、社会に貢献していきたいと思っています。

【お祝いの言葉】

輝かしい新春を迎え、ふるさとで20歳の門出を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。昨年4月の民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられました。これにより新成人の多くが大学受験、または就職といった人生の選択を迫られる極めて多忙な時期の最中であり、参加者本人も家族も落ち着いた環境でお祝いすることが困難なことから、富山市では「はたちの集い」と名称を改め、引き続き20歳での式典を継続することになりました。今回が記念すべき初めての式典であります。

さて、コロナ感染拡大は3年にもおよび、社会のあり方や働き方も大きく変化し、テレワークや余暇を両立させるワーケーションといった生活様式が急速に普及しており、コロナ禍を契機とした地方回帰が高まりを見せています。今のような時代に求められるのは、たくましく心豊かに、しなやかに新しい発想を生む創造であり、人との繋がりを互いに生かし合う共生であると思います。

20歳を迎えられた皆さん、山田で育まれた才能をさらに広い世界で挑戦・活躍されますことを期待し、スタンフォード大学オンラインハイスクールを全米一の進学校にした星友啓校長の言葉を贈ります。自署の本の中で、この時代を生き抜く力には「聞き取る力」・・・相手の話に耳を傾け最後まで話を聞く。「共感する力」・・・相手を思いやり相手の立場に寄り添う。「与える力」・・・人の為に考え人の為に行動する。以上3つの基本要素が必要だと言っておられます。これからの人生を一步、一步確実に歩んでください。

山田地域自治振興会
会長 山田 憲彰